

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	1132	(H.26)No.	1132
-----------	------	-----------	------

事務事業名	ふるさと学習充実事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学校教育室	雪岡 正明	

会計区分	事業コード	465801
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	ふるさと学習充実事業	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	ふるさと学習充実事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施 策	1	学校教育
	小 施 策	2	義務教育
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)		
小学校3・4年生の社会科の副読本として「わたしたちの名張市」を作成し、教科学習の中で活用することで、郷土の自然や文化、歴史に親しみ、郷土を愛する子どもを育みます。		
事業内容		
「わたしたちの名張市」は、社会科副読本として小学校3・4年生の地域教材の中核を担っています。平成23年度には教科書が改訂され、社会科副読本も2年間の改訂検討期間を経て、平成24年4月から第5次副読本「わたしたちの名張市」を使用しています。以降は、2年ごとに増刷をし、次回(10年後)の学習指導要領改訂の折には、社会科副読本改訂委員会を立ち上げ、学習指導要領を反映させた内容の改訂を行う予定です。		

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	市内小学校3年生に社会科副読本を配付し活用を図った。	平成28・29年度用の社会科副読本の印刷(増刷)を行い、市内小学校3年生に配付し、活用を図る。	市内小学校3年生に社会科副読本を配付し活用を図る。	平成30・31年度用の社会科副読本の印刷(増刷)を行い、市内小学校3年生に配付し、活用を図る。	市内小学校3年生に社会科副読本を配布し活用を図る。

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	(0千円) 0千円	784千円	0千円	784千円	0千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 0	784	0	784	0
人工数					
職員	0.01人	0.02人	0.02人	0.02人	0.02人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 75千円	150千円	150千円	150千円	150千円
①+②総事業費	(0千円) 75千円	934千円	150千円	934千円	150千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
小学校3・4年生の社会科の地域学習の資料として活用し、名張の自然や文化、歴史に親しむ機会を提供することで、郷土を愛する意識の醸成を図ることができました。	増刷の年度ごとに、修正箇所等(古い資料の差し替え等)の必要がないか確認します。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	副読本としての活用により、子どもたちの「確かな学力」「豊かな人間性」、また、生涯学び続けることができる社会性等を身に付けるための教育を実施することができました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 名張市子ども教育ビジョン 名張市次世代育成支援行動計画 なばり快適環境プラン
子どもたちの「確かな学力」「豊かな人間性」、また、生涯学び続けることができる社会性を育むことをめざすとともに、環境教育のための副読本としての活用を図るため、継続配付が必要です。	